

「第6回 全国高校生介護技術コンテスト」課題

<事前課題>

課 題	状 況	<p>山口はぎ乃さん（85歳・女性）は、5年前に脳梗塞の既往歴があります。さらに半年前に脳梗塞を再発し、左上下肢麻痺になりました。再発を機に認知症の症状も進行し、最近排泄の失敗をしたことにより意欲の低下が見られます。</p> <p>入所後はリハビリを継続しており、その一環としておしぼりたたみを日課としています。山口さん自身も、おしぼりたたみは意欲的に取り組んでいます。</p>
	健康状態 心身機能 身体構造	<p>脳梗塞後遺症による左上下肢麻痺（完全麻痺） 血管性認知症（まだら認知症）：協力動作等、声かけが理解できれば動作に結びつく。身近にある物や馴染みの物を収集する傾向にある。やや抑うつ傾向もある。</p> <p>半側空間無視 構音障害：軽度であり、リハビリにて回復してきている。 視覚・聴覚：85歳の平均的な状態。眼鏡や補聴器の使用なし。</p>
	活 動	<p>起居、移乗は一部介助が必要。 座位は、患側が不安定なため、自力で保持し続けることは困難。 立位は、介助や身体を支えられるものがあれば力はいれられるが、患側には力が入らないため不安定。 移動は、車いすを使用。患側が安定しないことと認知機能の低下により自走はしていない。 更衣やその他身じたくにも、一部介助が必要。 食事は、箸、スプーン、フォークなどを使用し、自力で摂取している。半側空間無視により、見守り等支援が必要。 排泄は、日中はトイレ誘導、夜間は定時にポータブルトイレを使用している。尿意・便意が曖昧であるため、リハビリパンツと尿取りパットを使用し、定期的な声かけで排泄の確認をしている。 簡単なコミュニケーションは可能。 本来の利き手は右。</p>
	参 加	<p>施設では、立位訓練を中心としたリハビリを行っている。また、日常生活の中でもリハビリにつながるような作業等を取り入れるとよいとリハビリ専門職よりアドバイスがあり、おしぼりたたみを日課としている。</p>
	個人因子	<p>女性。85歳。助産師をしており、退職まで勤めた。30代で夫を亡くし、その後2人の子どもを育てながらも仕事は続けていた。退職後も70歳までは地域の保健活動にかかわっていた。70歳以降は、趣味である温泉巡りや、山歩き、山菜採りなどを楽しんでいた。長男夫婦や孫夫婦とも、仕事の休みが合えば一緒に出かけることもあった。昨年ひ孫が誕生した際には、非常に喜んでいた。</p>

	環境因子	5年前に脳梗塞を発症した際には、障害はほとんどなかったため、自宅での生活を継続していた。自宅では長男夫婦、孫夫婦、昨年誕生したひ孫と同居していた。孫（男性）は幼い頃から山口さんに憧れており、現在看護師として働いている。半年前に脳梗塞を再発し、リハビリを行ったものの在宅復帰が困難であったため介護老人保健施設に入所した。家族は、「施設でもリハビリを続け、今できることはできるだけ自分でやってほしい」と望んでおり、面会時には山口さんを励ましてくれている。
使用できる物品		ベッド : Q-AURA (クオラ) 2M91cm KQ-62310 マットレス : プレグラーマットレス 91cmレギュラー KE-551Q 介助バー : スイングアーム介助バー KS-096A ベッドサイドレール : ベッドサイドレール KS-161Q 車いす : スキット-4 SKT-4 車いすクッション : ブレイラハイブリットケアシート BRHM-400BL 床頭台 : nitto NB-43P ポータブルトイレ : ポータブルトイレきらく MS型 タオル類 : ハンドタオル1、フェイスタオル1、バスタオル1 衣服 : 衣服(上衣)2種類(下衣)1種類、寝衣2種類、カーディガン1種類 食器類 : おぼん2、マグカップ2、お碗2、スプーン2、フォーク2、箸2、小皿2、大皿2、おしぼり4、ふきん(テーブル用)1 その他 : リハビリパンツ2、尿取りパッド2、手指消毒用アルコール1、手鏡1、ヘアブラシ1

<当日課題>

今、山口さんは、夕食後の口腔ケアを終えてデイルームにいます。就寝前に、日課であるおしぼりたたみをしているところです。

まもなくたたみ終わるので、居室へ移動して寝衣(上下)へ着替え、ベッドへ臥床していただいでください。

※山口さんは上衣・下衣の中に半袖・半ズボンを着用しています。それは脱がさないでください。

※脱いだ衣服は、たたんでタンスの上に置いてください。

※山口さんの靴下ははいたままでかまいません。